

ブルゴーニュ大学への協定留学 月例報告書（1月）

人見小春

◇イタリア観光



冬のリバケーション期間でイタリア旅行へ行きました。移動手段は飛行機や電車ではなく、FlixBus という高速バスを利用して観光しました。移動時間はかかりますがかなり費用が抑えられるのでおすすめです。訪れた場所はミラノとフィレンツェです。ミラノでは荘厳なドゥオーモを見学し、またサンタ・マリア・デッレ・グラツィエ教会を訪れて「最後の晩餐」を鑑賞することができました。フィレンツェではドゥオーモからの街の景色やヴェッキオ橋などの美しい街並みを楽しみ、

ウフィツィ美術館にも訪れました。観光名所は勿論、イタリアと言えばやっぱり食ということで、ピザやパスタ、ミラノ風リゾットやジェラートなどを食べまくりました。とっても美味しかったです。

イタリア観光の中で、建築物や食べ物などの文化においてフランスと異なる部分、同じ部分、似ているけど少し違う部分などを色々発見しました。その中でフランスの方が好きだなと感じる部分もあり、良い体験になりました。

◇新年会

1月ということで、日本人のお友達と日本語を学んでいるフランス人のお友達とで新年会を開催しました。お餅つき、餃子作り、お雑煮、餡子、栗きんとんなど日本のお正月らしい食べ物から、ガレットデロワというフランスの行事で食べられる伝統的なケーキも用意して行いました。ガレットデロワとは「王様のお菓子」という意味を持っており、大きなパイの中に小さな陶器のお菓子（フェーヴ）が入っています。一番年下の人がテーブルの下に隠れ、切り分けたパイを誰に配るか決めていきます。見事フェーヴが入ったパイを当てた人は王冠を被り祝福を受け、その一年間幸運が続くと言われている催しです。食事の後は皆で書き初めをしました。それぞれ今年の抱負を書くことになり、フランス人の皆も頑張って漢字で書いていました。日本の文化とフランスの文化、どちらも感じられた素敵な一日になりました。



◇メルヘンな街コルマルへ



一月の初めに、ずっと行きたかったコルマルへ行きました。コルマルはドイツに近いフランス北東部に位置するアルザス地方の街で、郷土料理などもドイツの影響を受けています。アルザス地方はクリスマスマーケットが有名なのですが、それは予定が合わず行けませんでした。しかしそれだけではなく、コルマルは「ハウルの動く城」や「美女と野獣」などのモデルにもなった街で、とにかくカラフルで可愛らしい街並みをしています。実際に「ハウルの動く城」に出てきた建物なども見つけることができました。本当に美しく可憐な街並みで、ただ歩いているだけでも楽しかったです。アルザスの郷土料理にも挑戦しました。

◇秋学期が終わりました

1月中旬に期末テストを終え、今学期がひとまず修了しました。クラスではお別れ会を開き、ここでもガレットデロワをしました。残念ながらフェーブは当たりませんでした。クラスメートと楽しむことができました。私のように来学期も継続して通う人もいれば今学期で終わりの人もいて、クラス替えもあるため皆と離れ離れになってしまうと思うと寂しかったです。私はフランス語も英語もあまり話せなかったのでコミュニケーションが難しい時もありましたが、皆優しくて助けられながら授業に励むことができました。来学期ではレベルが上がりますが、より一層頑張っって勉強していきたいと思います。

◇スペイン観光

学校が終わり、次のセメスターが始まるまでの間に長い休みがあったので、スペインのバルセロナに旅行に行きました。今回も高速バスを使って移動しました。サグラダファミリアを始めとするガウディの遺した様々な作品群を見て回りました。細部まで複雑かつ繊細な造りで圧倒されました。可愛くて素敵な建築物が多かったです。食べ物も、パエリアやタパスなど美味しいものが沢山あって大満足の旅行でした。まだまだ行きたい場所や国がたくさんあるので、勉強と両立しながら旅行も楽しみたいと思います。

